

## 「簡単」「便利」な資料請求環境を提供

テレメールは、2回目以降の資料請求が「簡単」「便利」。  
各大学でも共通のパスワードで使える資料請求システムです。

2回目以降の資料請求では個人情報を都度入力する必要がなく、初回利用時に登録した4桁のパスワードと7桁の郵便番号を入力するだけの非常に簡単な手続きで、必要な資料を取り寄せることができます。

同じパスワードが使える!

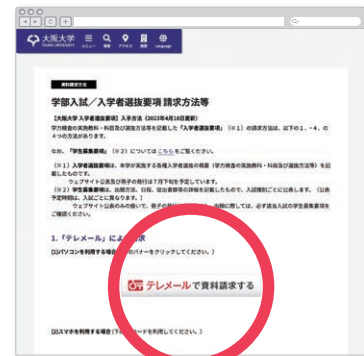
同じパスワードが使える!

以前に登録したテレメールの  
パスワード(夢ナビのパスワード)が  
利用可能

**10月・11月・12月**  
併願校の検討~決定段階での  
大学案内パンフ、願書・ネット出願資料の請求

**1月・2月**  
大学入学共通テスト後の  
願書・ネット出願資料の請求

190校の国公立大学・短大と522校の私立大学・短大が、資料請求方法として、公式サイト上でテレメールを採用しています。  
大学公式サイトからでも、登録したパスワードが共通に使い、簡単に資料請求ができます。  
テレメールで入学者選抜要項、学生募集要項、願書やネット出願資料を請求できる大学公式サイトの一例を紹介します。



▲大阪大学  
<https://www.osaka-u.ac.jp>



▲南山大学  
<https://www.nanzan-u.ac.jp>

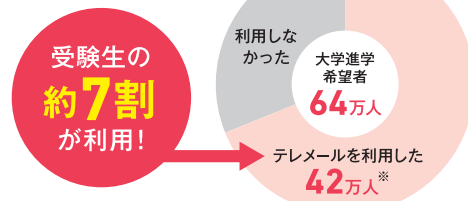


▲埼玉大学  
<https://www.saitama-u.ac.jp>

## 大学進学希望者の約7割が 利用する資料請求システム

テレメールは進学関連資料の請求においてスタンダードな資料請求システムとして、大学進学希望者の約7割に利用されています。特に大学入学共通テスト翌日から10日間の資料請求は約8万件、ピーク時には1日1万2,000件以上の資料請求を例年受け付けています。願書請求が集中する時期でも即日発送処理を行い、受験生の出願をしっかりとサポートしています。

テレメール利用実績 2022年度  
全受験生に占める割合



\*高校生・受験生全体のテレメール利用者  
94万人から、高1生・高2生を除いた利用者数

## テレメール進学カタログ 活用のご案内

## クラス担任先生用資料

# 願書&ネット出願資料 請求インデックス

ポケットサイズで使いやすい!



テレメールは例年、大学進学希望者の約7割に利用されています。願書をはじめとする「入試に関する資料」などを、生徒の皆さまに確実にお届けします。

**POINT 1** 資料請求できる学校数が多い

すべての国公立大学・短大 **194校**

私立大学・短大 **644校** を掲載

※専門学校は職業分野別QRコードから約1,350校の請求が可能

**POINT 2** 120校以上の国公立大学・短大の  
一般募集要項が請求できる

**POINT 3** 私立大学の  
入学者選抜日程一覧を掲載

「出願締切日」「試験日」「合格発表日」「入学手続締切日」を簡単に確認でき、必要な資料をすぐに取り寄せることができます。

大学名	方式名	学部名(学科名-専攻名)	出願締切日	試験日	
学習院	コア試験	経済	1/22済	2/6	
		理	1/22済	2/7	
		文	1/22済	2/9	
		法	1/22済	2/10	
		国際社会科学	1/22済	2/11	
	プラス試験	法	1/22済	2/6	
		文(心理、教育)	1/22済	2/7	
		理(物理、数学)	1/22済	2/9	
		国際社会科学	1/22済	2/10	
		経済	1/22済	2/11	
学習院女子	大学入学共通テスト利用入学者選抜	経済(経済)	1/12済	共通テスト	
		文(文・史・英語英米文化、ドイツ語文化、教育、理(化学、生命科学))	1/12済	共通テスト	
	一般選抜A方式	国際社会科学	1/12済	共通テスト	
		国際文化交流	1/19済	1/31	
		国際文化交流	2/13済	2/22	
		一般選抜 全学統一	家政、文芸、国際、看護、ビジネス、建築・デザイン	1/15済	1/22
		一般選抜 2月日程個別学力試験	家政(食物栄養-管理栄養士)、看護	1/26済	2/4
		一般選抜 2月日程個別学力試験	家政(被服、食物栄養-食物学、児童)、文芸、国際、ビジネス、建築・デザイン	1/26済	2/4-5日

# カタログの活用方法

## 国公立大学・短大、大学校

入学者選抜の概要を掲載した学生募集要項、入学者選抜要項や大学案内パンフ、学部・学科案内パンフを取り寄せることができます。



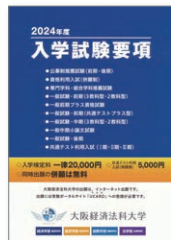
一般選抜学生募集要項  
※画像は昨年度版



入学者選抜要項

## 私立大学・短大

ネット出願校でも入学試験要項や募集要項等が発行され「ネット出願資料」として取り寄せられます。さらに入試ガイドや大学案内パンフ、学部・学科案内パンフ、過去問題集なども請求できます。



ネット出願資料  
(入学試験要項)



入試ガイド

## 資料請求環境が変化。「一般募集要項」の冊子を取り寄せることができる国公立大学が増えています。

ネット出願の拡大と合わせて、学生募集要項などの入試に関する資料はPDFでの閲覧とする大学が増えています。高等学校の指導現場や受験生・保護者から、冊子が手元にないことへの不安の声が多いことから、入試情報の入手環境の改善と入試制度の理解促進のため、一般募集要項の冊子を手に入れるようにする国公立大学が増えています。

## テレメールでしか請求できない国公立大学の一般募集要項を多数掲載しています。

ネット出願の大学でも、テレメールであれば国公立大学(115校)・公立短大(8校)の一般募集要項を取り寄せることができます。また、国公立大学115校の内85校はテレメールでのみ請求できる大学となっており、今後も増える予定です。11月～12月初旬の発刊が多いので、テレメールで予約受付をしておけば、発行後すぐに入手できるので安心です。

## 選抜方式が多様化。入試情報やスケジュールの把握には冊子が便利です。

特に私立大学では、選抜方式が多様化しており、一つの学部・学科でも複数の出願機会があります。多くの私立大学では、入試ガイドやネット出願資料などの入試に関する資料が発行されているので、冊子を取り寄せることで重要箇所の確認やスケジュール把握などもしやすく、大学公式サイトを都度確認したり、自分で印刷をする手間が省けます。

## 出願校の検討に「大学案内パンフ」をご活用ください。

出願校を検討する場合には、オープンキャンパスに参加していない大学や、大学案内パンフを読んだことがない大学が候補にあがる場合もあります。大学名は知っていても、学びの内容や学習環境がマッチしているとは限りません。出願する大学＝入学する可能性がある大学と捉えて、大学案内パンフをしっかりと読み込み、出願先として適切かどうかを確認してください。



大学案内パンフ

# 願書やネット出願資料の入手方法として、テレメールの利用をご指導ください。

## 「安心」「確実」な資料請求環境を提供

### 請求受付から発送まで一元管理しています。

テレメールで請求された資料は、請求受付から発送までテレメールカスタマーセンターが一貫して行っています。願書やネット出願資料、大学案内パンフなどの資料は予め大学・短大などからお預かりしていますので、16時までに請求された資料は当日中に郵便局へ差し出します。また、曜日を問わず毎日発送を行っていますので、土日祝日に請求された資料も迅速・確実に発送しています。

### 年中無休で有人のカスタマーサポートを設置しているのはテレメールだけ。

資料の到着を安心してお待ちいただけるよう、土日祝日を問わずカスタマーセンターが稼働しており、徹底したサポート体制を敷いています。

### 願書が1～2日で届く発送サービスをご利用になれます。

国公立大学・短大、大学校の願書を含む資料については、「1～2日後に届く発送サービス(追跡サービス付き)」を、追加料金200円でご利用になれます(発行部数の少ない一部の資料は除く)。また、私立大学・短大の願書やネット出願資料については、一部の資料に限り、本サービスをご利用になれます。

※詳細は本カタログのP17に掲載しています。

### 国公立大学の一般選抜募集要項は、テレメール速達対応を実施します。

2024年1月27日(土)昼12時迄に請求できなかった方のために、2024年1月27日(土)昼12時～1月30日(火)昼12時迄の期間、国公立大学の一般選抜募集要項は「テレメール速達対応」を実施します。

※テレメール速達対応の場合は料金が異なります。詳細は本カタログのP50に掲載しています。

※国公立大学の一般選抜の出願期間変更に伴い、2023年7月にテレメール速達対応の実施期間を当初の日程から変更しました。

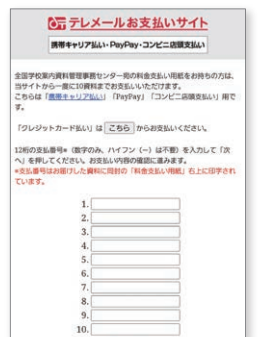
## 有料資料の料金のお支払いについて

### 料金は資料到着後の後払いです。

有料資料の料金は、資料が届いてからお支払いいただく後払い方式です。必要な資料はすばやく簡単に請求してもらい、到着後にお支払いいただきます。

### 複数資料の料金を一度に10資料までお支払いできます。

国公立大学・短大、大学校、一部の私立大学・短大など、全国学校案内資料管理事務センター宛に料金を支払う資料は、「テレメールお支払いサイト」で手続きをすることで複数資料の料金を一度に10資料まで支払うことができます。



## テレメールに対する信頼の高さは、公的機関で利用されていることでも証明されています。

テレメールの利便性や個人情報の取り扱いについての高い基準などが評価され、大学入学共通テストや、文部科学省の高等学校卒業程度認定試験などの公的機関の資料請求方法としても、テレメールが採用されています。